

しんかんきょう

公益社団法人神奈川県環境保全協議会

2014. 4
第 130 号
(総会特別号)



- 本号には総会議案の一部を掲載しました！
総会当日にご持参ください。

- 総会に続く記念講演会！

「深海の神秘～深海のダイオウイカの謎に迫る～」

独立行政法人 国立科学博物館 標本資料センター

コレクションディレクター

分子生物多様性研究資料センター長・併任

水産学博士 窪寺 恒己 氏



会報 しんかんきょう も く じ

平成26年 4 月 No.130（総会特別号）

1	第2回定時総会のご案内	
(1)	第2回定時総会次第.....	1
(2)	第1号議案 平成25年度事業報告について.....	2
(3)	第2号議案 平成25年度収支決算報告について.....	7
(4)	第3号議案 任期満了に伴う役員改選について.....	10
	協議会事務局	
2	平成26年度公益社団法人神奈川県環境保全協議会環境保全表彰.....	11
	協議会事務局	
3	法令・行政の動向	
	光化学スモッグ注意報の発令状況等について.....	12
	神奈川県環境農政局環境部大気水質課	
4	新技術紹介	
26	サーバールーム向け局所冷却空調システム「Ref Assist」(レフアシスト)	14
	(株)日立プラントサービス	
5	平成25年度環境保全視察研究会に参加して.....	16
	トピー工業(株)神奈川製造所 鍋谷 耕治	
6	会員事業所訪問「お元気ですか？」.....	17
19	東罐興業(株)厚木工場を訪ねて	
	協議会事務局 山崎 美紀	
7	協議会の活動状況.....	18
	協議会事務局	
8	お国自慢・事務局だより.....	20

第2回定時総会のご案内

第2回定時総会次第

開催日：平成26年5月30日(金)

(14:00～14:45) [県民共済みらいホール]

[第1部] 第2回定時総会

- 1 開会のことば
- 2 会長あいさつ
- 3 来賓祝辞
- 4 議長選出
- 5 議事録署名人選出
- 6 議事

(1) 審議事項

- | | |
|-------|----------------------------------|
| 第1号議案 | 平成25年度事業報告について |
| 第2号議案 | 平成25年度収支決算報告について
平成25年度会計監査報告 |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う役員の改選について |

《休憩》

(2) 報告事項

- | | |
|-----|----------------|
| 報告1 | 平成26年度事業計画について |
| 報告2 | 平成26年度収支予算について |

[第2部] 環境保全表彰

(14:45～14:55)

環境保全表彰
閉会のことば

[第3部] 記念講演

(15:15～16:45)

独立行政法人 国立科学博物館 標本資料センター

コレクションディレクター 分子生物多様性研究資料センター長・併任

水産学博士 窪寺 恒己 氏

「海洋の神秘～深海のダイオウイカの謎に迫る～」

* 深海に潜むダイオウイカを追い続け、人類として初めてダイオウイカとの遭遇を果たしたプロセスと深海探査へのさらなる挑戦について語っていただく。

[第4部] レセプション

(17:15～18:45)

[6階 ヴァランセ]

議案資料

- | | |
|-------|---|
| 第1号議案 | 平成25年度事業報告について・・・本誌2～6ページ |
| 第2号議案 | 平成25年度収支決算報告について・・・本誌7～9ページ 総会にてスライドで説明 |
| 第3号議案 | 任期満了に伴う役員の改選について・・・本誌10ページ |

第 1 号議案 平成25年度事業報告について

凡例： ☐ 公益目的事業 ☐ その他事業（共益事業） ☐ 公益・共益が混在（会報）

事 業 名 等	実 施 内 容
総 会	
公益社団法人神奈川県環境保全協議会 第 1 回定時総会 平成25年 5 月23日（木） 日産グローバル本社 ホール	(1) 総会議事 (2) 平成25年度（公社）神奈川県環境保全協議会環境保全表彰 3 事業所と 4 個人が受賞されました。 (3) 記念講演「スマートエネルギー講演会」 「神奈川県が進めるかながわスマートエネルギー構想」 神奈川県産業労働局参事監（エネルギー担当） 藤巻 均 氏 「車の垣根を超えたスマートコミュニティについて」 日産自動車(株)電子技術開発本部エキスパートリ - ダー 二見 徹 氏 参加者：約118名
会 議	
1 理事会 第 1 回 平成25年 5 月23日（木）	(1) 平成24年度事業報告について (2) 平成24年度収支決算報告について (3) 定款の一部改正案について
第 2 回 平成25年11月 5 日（火） 場 所 田中貴金属工業(株)湘南工場 会議室	(1) 平成25年度事業の進捗状況報告と事業予定案について (2) 平成25年度の（公社）環境保全協議会会員の表彰状況 (3) 新入会員の承認と役員の一部変更について (4) 今後 5 か年（H26～H30）の事業計画案について (5) 神環協の事業運営の方向性について (6) 講師等への謝礼（報償費）に関する規程の見直しについて (7) 第 2 回定時総会及び記念講演の開催案について
< 予定 > 第 3 回 平成26年 3 月25日（火）	(1) 平成25年度事業結果報告（案）について (2) 平成26年度事業計画案及び収支予算（案）について (3) 今後の神環協のあり方に関する調査結果 ほか
2 総務委員会 第 1 回 平成25年11月 5 日（火）	(1) 平成25年度事業の進捗状況について (2) 講師謝礼の見直し（規程改正について） ほか
< 予定 > 第 2 回 平成26年 3 月25日（火）	(1) 平成26年度環境保全表彰（会長表彰）の選考について (2) 第 2 回定時総会の役割分担について (3) 平成25年度収支決算（見込み案）及び平成26年度収支予算案 について
3 企画教育委員会 第 1 回 平成25年 9 月 6 日（金）	(1) 平成25年度の教育事業進捗状況及び事業予定について ア．平成25年度事業の実施状況（8 月末現在） イ．平成25年度事業の今後の予定について (ア) 地区研修会 (イ) 受託事業 (ウ) その他自主事業 ・環境実践後継者講座育成講座（1 月開催予定） ・(新規事業)女性のための環境保全研修会（2 月開催予定） ・環境保全視察研究会（3 月実施予定） (2) 平成26年度以降の事業計画について (ア) 5 か年事業計画案（H26年度～H30年度）全体概要版

事業名等	実施内容
	(イ) 平成26年度新規事業案について ・エコアクション21認証等支援研修会(仮称) ・生物多様性と企業との関わり講座(仮称) (ウ) 第2回定時総会と記念講演の開催案 (3) その他事項 神環協に関わる研修会等の報償費の改訂について
第2回 平成26年3月4日(火) 場 所 波止場会館 会議室	(1) 平成25年度事業実施状況 (2) 平成26年度事業計画案
4 広報委員会 第1回 平成25年6月14日(金) 場 所 (株)さんこうどう 会議室	(1) 会報“しんかんきょう128号”(2013年8月号)の発行について (2) 今後の会報“しんかんきょう”発行計画について (3) ホームページ広報について
5 地区部会等 (1) 地区部会の役員会議(4地区) 平成26年2～3月	(1) 平成26年度事業計画について (2) 会長表彰、県政総合センター所長表彰等候補者の推薦 ほか
(2) 大和・綾瀬分会 理事会 4回開催	(1) 平成26年度事業計画について (2) 最新の廃棄物情報について ほか
会計監査	
平成25年4月12日(金)	監事：武田純一 氏、宮井達也 氏
研修会事業	
1 平成25年度公害防止管理者等講習会 (神奈川県からの受託) (1) 大気交通環境・廃棄物関係 横浜会場 平成25年10月10日(木) 藤沢会場 平成25年10月18日(金) 参加者：横浜95名、藤沢82名	講師：県関係課担当者、土屋順裕 氏、須貝英生 氏 (1) 県内大気汚染の状況と大気関係の法例の動向等 (2) 大気関係に関する取組み事例(株)ガスター・関西ペイント(株) (3) 自動車の使用に伴う環境負荷の低減について (4) 廃棄物処理関係法令の動向について
(2) 水質・土壌・化学物質関係 横浜会場 平成25年10月22日(火) 藤沢会場 平成25年11月13日(水) 参加者：横浜98名、藤沢105名	講師：県関係課担当者、神田英治 氏、山下知子 氏、川口正人 氏 (1) 水質関係の法例の動向等について (2) 土壌関係の法令の動向について (3) 土壌汚染又は水質汚濁に係る技術的動向又は企業の取組等について (4) 化学物質の県内管理状況と関連法令の動向について (5) 化学物質の管理・排出抑制技術に係る企業の取組について
2 ISO内部環境監査員養成研修会 平成25年5月9日(木)～10日(金) 会 場 万国橋会議センター *受講者：38名	講師：山岡憲一 氏、坂山幸平 氏 (1) 環境側面について (2) 要求事項の概要と内部環境監査のポイント (3) 環境法規 (4) 内部監査の進め方 (5) 演習(現場監査の実際・整合性監査・チェックリスト) (6) 研修効果(テスト)確認
3 ISO内部環境監査員ブラッシュアップ 研修会 第1回 平成25年6月6日(木) 会 場 波止場会館 *受講者：10名	講師：神田英治 氏、山下知子 氏、川口正人 氏 (1) 企業における環境管理と内部監査の役割 (2) 最近の環境法令の動向 (3) 内部監査の在り方(ISO19011等) (4) 実践演習(模擬監査、監査所見の作成)

事業名等	実施内容
第2回 平成25年8月7日(水) 会場 第一三共ケミカルファーマ㈱ 小田原工場 *受講者:32名	講師:神田英治氏、山下知子氏、川口正人氏 研修内容: 法規制の改正動向 審査動向と内部監査のポイント等 内部環境監査の実際 内部監査の演習
第3回 平成25年8月30日(金) 会場 トピー工業㈱綾瀬製造所 *受講者:20名	講師:山下知子氏、川口正人氏 研修内容: 法規制の改正動向 審査動向と内部監査のポイント等 内部環境監査の実際 内部監査の演習
第4回 平成25年9月10日(火) 会場 神戸製鋼所㈱藤沢事業所 *受講者:30名	講師:神田英治氏、山下知子氏、川口正人氏 研修内容: 法規制の改正動向 審査動向と内部監査のポイント等 内部環境監査の実際 内部監査の演習
4 環境実務後継者育成講座 平成26年1月31日(金) 会場 万国橋会議センター *受講者:35名	講師:青山尚己、寺下明文、山下知子、松本 操の各氏 (1) 環境法令の全体像の理解 (2) 環境法令の読み方(ルール) (3) 法令・条例の申請手続き (4) 排水・排出ガスの測定 (5) 事故・苦情への適切な対応 (6) 公害防止に関する環境管理の在り方 (7) グループ演習 『環境リスクの気づきが企業を高める』
<新規事業> 5 女性担当者のための環境保全研修会 (第1回 公害防止-水質保全-) 平成26年2月12日(水) 会場 万国橋会議センター *受講者:21名	講師:長 康夫、工藤美子、神田英治、山崎美紀の各氏 (1) 環境法を知る! - 水質関連法令について - (2) こんなときどうする? - 水質事故とそのリスク回避 - (3) 実務のいろは! - 法令を読み解く - (4) はじめまして! - 環境保全協議会とは -
6 産業廃棄物協会 県央地区委員会との共催研修会 平成25年11月29日(金) 会場 ザ・ウィングス海老名4F *参加者:81名	講演 「排出事業者の直面するリスクと信頼性の高い処理業者を見つけるポイント」 行政書士エース環境法務事務所 行政書士 尾上雅典氏
7 地区研修会 (1) 湘南地区研修会 平成25年9月11日(水) 会場 日清オイリオグループ㈱ 横浜磯子事業場 *参加者:29名	(1) 湘南地域における環境の現状と課題について 神奈川県湘南地域県政総合センター環境部 岡村 和雄 環境保全課長 (2) 日清オイリオグループ㈱横浜磯子事業場の概要及び環境活動の取組について

事業名等	実施内容
(2) 県央地区研修会 平成25年9月20日(金) 会場 独立行政法人国立印刷局 小田原工場 * 参加者：31名	(1) 独立行政法人国立印刷局小田原工場の概要説明及び環境の取組 (2) 県央地域における環境の現状と課題について 神奈川県県央地域県政総合センター環境部 寺下明文 環境保全課長
(3) 横須賀鎌倉地区及び県西地区合同 研修会 平成25年9月27日(金) 会場 全日本空輸(株)機体メンテナンスセンター * 参加者：28名	(1) 県西地域における環境の現状と課題について 神奈川県県西地域県政総合センター環境部 西田 積 環境保全課長 (2) 全日本空輸(株)機体メンテナンスセンターの概要説明及び視察 見学
調査・支援事業	
1 環境保全視察研究会 平成26年2月28日(金) * 参加者：25名	県外事業所のものづくりの現場と環境施設の見学、環境保全活動 の取組みを学ぶため、以下の視察を行いました。 日本板硝子(株)千葉事業所 【千葉県市原市】 住友化学(株)千葉工場 【千葉県市原市並びに袖ヶ浦市】
2 環境保全アドバイザーコンサルティング事業 * 派遣回数：10件	環境保全アドバイザー登録状況：16名 (H26.1月) 18名 ISO内部環境監査員養成研修会等の講師として活躍
3 会報の発行	「しんかんきょう」127号(4月総会特別号)、128号(8月)、 129号(1月)を発行
4 ホームページによる情報提供	環境法令改正トレンドを毎月発信など
5 印刷物の発行頒布	アイドリングストップ啓発看板、指定事業所表示板の頒布
6 環境保全表彰 (1) 環境保全表彰選考会議(3/25)	平成24年度環境保全表彰被表彰者の選考(2事業所と4個人を選考)
(2) 環境保全表彰式(5/30)	環境保全表彰被表彰者の表彰(2事業所と4個人を表彰)
(3) 環境保全表彰選考会議(3/25)	平成26年度環境保全表彰被表彰者の選考(8事業所を選考)
連携事業	
1 環境保全被表彰者の推薦 (1) 県政総合センター所長表彰 [横須賀鎌倉地区]	受賞者：花王(株)川崎工場(大気・水・土壌功労) <環境農政局長表彰>
[県央地区]	受賞者：三京ダイヤモンド工業(株)(大気・水・土壌功労)
[湘南地区]	受賞者：田中貴金属工業(株)湘南工場(大気・水・土壌功労)
(2) 県環境保全(大気・水・土壌関係) 功労者表彰(知事表彰)	受賞者：組織：岡村製作所(株)追浜事業所 市光工業(株)伊勢原製造所 (株)GSユアサ小田原事業所
(3) 県環境整備功労者表彰(知事表彰)	受賞者：なし(審査段階で辞退)
(4) かながわ地球環境賞(知事表彰)	受賞者：なし(3件応募したが、受賞至らず)

事業名等	実施内容
2 かながわサイエンスサマー参加 平成25年8月24日（土） * 参加者：親子25組（50名）	平成24年度から参加し、2年度目として、三菱電機㈱情報技術総合研究所との共催によるこども向けのかんきょう・理科教室を開催した（第13回かながわサイエンスサマー）。 テーマ：かんきょう・理科教室～ラジオを作ろう！ 会場：三菱電機㈱情報技術総合研究所
3 県央地域環境情報交流会 平成26年3月17日（月） 会場 日産自動車㈱先進技術開発センター（厚木市森の里） * 参加者：36名	テーマ：エネルギー対策 主な内容： （取組事例の発表） ア メガソーラーの稼働事例 イ 蓄熱技術とその導入事例 ウ ビルにおけるエネルギーマネジメントシステムの導入事例 エ 工場における節電・省エネへの対応事例 （視察） 建築物における環境配慮事例の紹介及び施設見学 日産自動車㈱ 日産先進技術開発センター
4 マイアジェンダ登録	行政、団体主催・主導の各種事業に協力、協同して取り組んだ。
5 エコドライブの推進	
6 レジ袋削減に向けたマイバッグ普及	
7 電気自動車の率先導入と来客用駐車場への充電器設置	

第2号議案 平成25年度収支決算報告について

正味財産増計算書

平成25年4月1日から平成26年3月31日

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
受取会費	11,080,000	11,520,000	440,000
正会員受取会費収入	10,745,000	11,230,000	485,000
賛助会員受取会費収入	335,000	290,000	45,000
受取会費計	11,080,000	11,520,000	440,000
事業収益	3,240,325	2,353,750	886,575
環境保全講習会事業収入	2,900,125	1,854,000	1,046,125
表示板等頒布事業収入	60,200	79,750	19,550
広告料収入	280,000	420,000	140,000
事業収益計	3,240,325	2,353,750	886,575
受取補助金等	1,251,600	1,669,500	417,900
受取県事業受託収入	1,251,600	1,669,500	417,900
受取負担金	255,000	320,000	65,000
負担金収入	255,000	320,000	65,000
雑収益	56,209	38,156	18,053
受取利息	8,209	8,876	667
雑収入	48,000	29,280	18,720
雑収益計	56,209	38,156	18,053
経常収益計	15,883,134	15,901,406	18,272
(2) 経常費用			
事業費			
役員報酬	2,741,000	2,741,000	0
給料手当	4,584,413	4,665,550	81,137
退職給付費用	350,000	350,000	0
法定福利費	2,470,728	2,404,390	66,338
福利厚生費	142,343	109,676	32,667
旅費交通費	235,360	78,580	156,780
通信運搬費	539,506	548,285	8,779
会議費	495,311	1,025,398	530,087
消耗什器備品費	0	137,539	137,539
消耗品費	757,323	658,912	98,411
印刷製本費	1,403,963	1,755,848	351,885
光熱水料費	63,277	93,053	29,776
賃借料	440,614	326,106	114,508
諸謝金	977,087	660,800	316,287
租税公課	4,200	3,700	500
支払負担金	19,210	10,000	9,210
雑費	89,753	162,000	72,247
事業費計	15,314,088	15,730,837	416,749
経常費用計	15,314,088	15,730,837	416,749
評価損益等調整前当期経常増減額	569,046	170,569	398,477
当期経常増減額	569,046	170,569	398,477
2. 経常外増減の部			0
(1) 経常外収益			0
その他経常外収益			0
退職給付引当金取崩額	0	0	0
経常外収益計	0	0	0
(2) 経常外費用			0
経常外費用計	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0
税引前期当期一般正味財産増減額	569,046	170,569	398,477
当期一般正味財産増減額	569,046	170,569	398,477
一般正味財産期首残高	3,186,165	3,015,596	170,569
一般正味財産期末残高	3,755,211	3,186,165	569,046
II 指定正味財産増減の部			0
当期指定正味財産増減額	0	0	0
指定正味財産期首残高	0	0	0
指定正味財産期末残高	0	0	0
III 正味財産期末残高	3,755,211	3,186,165	569,046

正味財産増計算書内訳表
平成25年4月1日から平成26年3月31日

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計 共 益	法人会計 管 理	内部引去消去	合 計
I 一般正味財産増減の部					
1. 経常増減の部					
(1) 経常収益					
受取会費					
正会員受取会費収入	5,909,750	2,041,550	2,793,700	0	10,745,000
賛助会員受取会費収入	211,050	53,600	70,350	0	335,000
受取会費計	6,120,800	2,095,150	2,864,050	0	11,080,000
事業収益					
環境保全講習会事業収入	2,681,625	218,500	0	0	2,900,125
表示板等頒布事業収入	0	60,200	0	0	60,200
広告料収入	201,600	78,400	0	0	280,000
事業収益計	2,883,225	357,100	0	0	3,240,325
受取補助金等					
受取県事業受託収入	1,251,600	0	0	0	1,251,600
受取負担金	0	0	255,000	0	255,000
負担金収入	0	0	255,000	0	255,000
雑収益					
受取利息	0	0	8,209	0	8,209
雑収入	0	0	48,000	0	48,000
雑収益計	0	0	56,209	0	56,209
経常収益計	10,255,625	2,452,250	3,175,259	0	15,883,134
(2) 経常費用					
事業費					0
役員報酬	1,863,880	493,380	383,740	0	2,741,000
給料手当	3,300,777	366,753	916,883	0	4,584,413
退職給付費用	0	0	350,000	0	350,000
法定福利費	1,729,509	321,195	420,024	0	2,470,728
福利厚生費	0	75,110	67,233	0	142,343
旅費交通費	115,520	116,250	3,590		235,360
通信運搬費	376,560	21,900	141,046		539,506
会議費	163,578	127,830	203,903	0	495,311
消耗什器備品費	0	0	0	0	0
消耗品費	534,117	97,705	125,501	0	757,323
印刷製本費	961,906	39,033	403,024	0	1,403,963
光熱水料費	0	0	63,277	0	63,277
賃借料	301,836	0	138,778	0	440,614
諸謝金	977,087	0	0	0	977,087
租税公課	400	0	3,800	0	4,200
支払負担金	0	5,210	14,000	0	19,210
雑費	0	14,280	75,473		89,753
事業費計	10,325,170	1,678,646	3,310,272	0	15,314,088
経常費用計	10,325,170	1,678,646	3,310,272	0	15,314,088
評価損益等調整前当期経常増減額	69,545	773,604	135,013	0	569,046
当期経常増減額	69,545	773,604	135,013	0	569,046
2. 経常外増減の部					
(1) 経常外収益					
その他経常外収益					
退職給付引当金取崩額	0	0	0	0	0
経常外収益計	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用					
経常外費用計	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0
税引前期当期一般正味財産増減額	69,545	773,604	135,013	0	569,046
当期一般正味財産増減額	69,545	773,604	135,013	0	569,046
一般正味財産期首残高					3,186,165
一般正味財産期末残高					3,755,211
II 指定正味財産増減の部					
当期指定正味財産増減額					0
指定正味財産期首残高					0
指定正味財産期末残高					0
III 正味財産期末残高					3,755,211

貸 借 対 照 表

平成26年3月31日現在

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	3,857,199	3,369,631	487,568
未収会費	0	60,000	60,000
未収金	0	0	0
前払金	98,285	0	98,285
流動資産合計	3,955,484	3,429,631	525,853
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
基本財産合計	0	0	0
(2) 特定資産			
退職給付引当資産	5,285,936	4,935,936	350,000
事務所移転経費引当資産	3,150,000	3,140,000	10,000
(3) その他固定資産			
保証金	0	0	0
固定資産合計	8,435,936	8,075,936	360,000
資 産 合 計	12,391,420	11,505,567	885,853
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	25,593	26,643	1,050
預り金	174,680	216,823	42,143
流動負債合計	200,273	243,466	43,193
2. 固定負債			
退職給付引当金	5,285,936	4,935,936	350,000
事務所移転経費引当金	3,150,000	3,140,000	10,000
固定負債合計	8,435,936	8,075,936	360,000
負 債 合 計	8,636,209	8,319,402	316,807
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産	0	0	0
指定正味財産合計	0	0	0
2. 一般正味財産	3,755,211	3,186,165	569,046
正 味 財 産 合 計	3,755,211	3,186,165	569,046
負債及び正味財産合計	12,391,420	11,505,567	885,853

第 3 号議案 任期満了に伴う役員改選について

役職名	氏 名	所 属	役 職
理 事	高橋 徹	日産自動車(株)追浜工場	理事工場長
理 事	堀江 秀明	富士フイルム(株)神奈川工場	執行役員神奈川工場長
理 事	川上 彰久	(株)さんこうどう	代表取締役
理 事	青山 尚已	(公社)神奈川県環境保全協議会	事務局長
理 事	石川 洋介	(株)岡村製作所追浜事業所	事業所長
理 事	加藤 政裕	中外製薬(株)鎌倉事業所	研究本部研究業務推進部 鎌倉事業所長代理
理 事	菊地原秀光	アマノ(株)津久井事業所	生産部長
理 事	高杉 和宏	アンリツ(株)	環境・品質推進部長
理 事	加賀谷 努	ソニー(株)厚木テクノロジーセンター	厚木総務部マネジャー
理 事	長田 圭五	東芝機械(株)相模工場	工務部相模設備課課長
理 事	荻久保幸司	トピー工業(株)綾瀬製造所	設備技術部保全技術グループ
理 事	山口 直行	(株)ニコン相模原製作所	所長
理 事	杉崎 健司	日立オートモティブシステムズ(株) 相模事業所	相模生産技術課長
理 事	高岩 真吾	いすゞ自動車(株)藤沢工場	総務人事部業務グループ 藤沢安全健康管理
理 事	小島 利春	市光工業(株) ライティング事業本部伊勢原製造所	人事総務課長
理 事	佐藤 裕稔	関西ペイント(株)平塚事業所	事務部安全環境課係長
理 事	伊賀 祐人	田中貴金属工業(株)湘南工場	品質管理セクション ISO事務局マネージャー 環境管理責任者
理 事	井出 勝則	東邦チタニウム(株)茅ヶ崎工場	環境安全事務局
理 事	稲田 秀樹	JX日鉱日石金属(株)倉見工場	環境安全室主任技師
理 事	村上 安英	日産車体(株)	安全環境部 シニア・エンジニア
理 事	高橋 毅	(株)日立製作所 ITプラットフォーム事業本部	環境管理センタ環境統括室長
理 事	豊田 正紀	三菱樹脂(株)平塚工場	環境安全品証部長
理 事	板谷 行生	(株)カネボウ化粧品小田原事業場	安全・環境課
理 事	南場 徹也	クボタシーアイ(株)小田原工場	EMS事務局
理 事	高橋 文夫	三菱化学ハイテクニカ(株) 小田原テクノセンター	総務管理部 R C 推進グループ グループマネジャー
理 事	岡田 充弘	富士ゼロックス(株)竹松事業所	総務部環境経営グループマネジャー
監 事	吉田 剛	味の素(株)川崎事業所	総務・エリア管理部安全・環境グループ部長
監 事	根本 敏子	(株)旭商会	代表取締役

平成26年度 公益社団法人神奈川県環境保全協議会 環境保全表彰

受賞者名	所在地	功績の概要
東邦化学工業(株) 追浜工場	横須賀市	ISO14001の認証を全社一括で2001年に取得し、省エネルギー・CO ₂ 排出量削減の推進、廃棄物のリサイクル・適正管理、環境法令の順守及び緊急時避難訓練等の活動に成果をあげた。
(株)日本触媒 川崎製造所	川崎市	ISO14001の認証を2001年に取得し、全社共通の3年間の中期レスポンス・ケア(RC)推進計画に基づき、省エネルギー・CO ₂ 排出量削減の推進、廃棄物の排出量削減、リサイクルの促進及び、適正管理の徹底及び環境法令等の順守などの活動に成果をあげた。
(株)武部鉄工所	厚木市	ISO14001の認証を2001年4月に取得し、CO ₂ 発生量削減(電力・ガス・軽油等のエネルギーの使用量削減)、廃棄物排出量削減(廃プラ・汚泥・廃油の排出量削減)及び環境リスク低減活動の推進等環境負荷低減に向けた活動を推進し成果をあげた。
日産サービスセンター(株) 京浜支社	座間市	ISO14001の環境マネジメントシステムを2001年4月から日産自動車(株)座間事業所の環境組織の一員として、省エネルギーの推進、廃棄物のリサイクル及びグリーンパーツの推進等の活動に取り組み成果をあげた。
(株)テクノステート	藤沢市	事業場の取組みとして、金属精密部品を主とする生産活動における環境負荷を少なくするため、電気、水、紙等の資源の節約、廃棄物の削減及びリサイクル化及び環境汚染物質使用及び排出量の削減等を環境活動重点テーマとして掲げ成果をあげた。
日本エレクトロ プレイング・ エンジニアース(株)	平塚市	ISO14001の認証を2000年に取得し、OHSAS18001を2005年に付加するかたちで統合取得した環境安全衛生マネジメントシステムを運用することにより、社内の環境負荷削減活動、製品・サービス等の活動に取り組み成果をあげた。
日本製紙クレシア(株) 開成工場	開成町	ISO14001の認証を2003年9月に取得し、地球温暖化対策、資源の循環利用、環境法令の順守及び環境負荷の低減及び地域との積極的な環境コミュニケーションを図る等の活動に取り組み成果をあげた。
三菱化学ハイテクニカ(株) 小田原テクノセンター	小田原市	2003年よりRC実施宣言を行い、ISO14001(環境管理)及びOHSAS18001(労働安全衛生)をRC活動として統合し、地球環境保護・省エネの推進、廃棄物の減量化及び再資源化の推進、有害物質削減の推進及び大気・水質等の法規制順守と自主規制による適正管理等に取り組み成果をあげた。

光化学スモッグ注意報の発令状況等について

神奈川県環境農政局環境部大気水質課

1 はじめに

本県では、大気汚染防止法（以下「法」という。）第23条及び神奈川県生活環境の保全等に関する条例（以下「条例」という。）第112条に基づき、光化学オキシダントの濃度が高くなった場合に光化学スモッグ注意報を発令するなど緊急時措置を実施しています。

光化学スモッグ注意報は、昭和46年以後毎年発令しており、工場・事業場におけるばい煙の排出削減などの取組により発令回数は長期的には減少傾向にありますが、記録的な猛暑となった平成25年度の夏は、注意報の発令回数や被害届数が平成24年度に比べ大幅に増加しました。（表1）

そこで、改めて本県の光化学スモッグ注意報の発令状況や原因物質の排出削減の取組について紹介します。

表1 直近10年の光化学スモッグ注意報の発令状況等

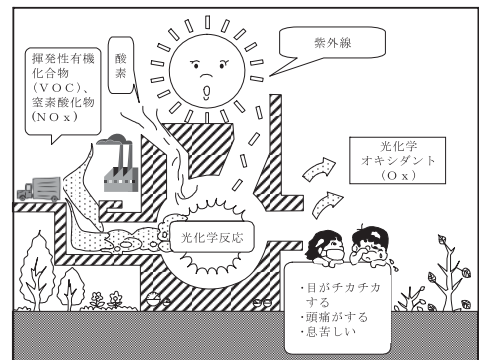
区分 \ 年度	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25
最初の発令日	5月30日	7月15日	6月1日	5月9日	5月23日	4月11日	7月21日	6月29日	6月2日	7月8日
年間の発令回数(日)	16	7	14	20	11	4	10	5	5	16
年間の被害届出者数(人)	4	276	199	4	14	5	26	1	0	75

2 光化学スモッグとは

自動車や工場・事業場から排出される窒素酸化物（NO_x）、揮発性有機化合物（VOC）を主体とする汚染物質が、太陽光線に含まれる紫外線の照射を受けて化学反応を起こすことにより発生する二次的な汚染物質である光化学オキシダントの濃度が高くなり、白いモヤがかかったような状態を「光化学スモッグ」といいます。（図1）

また、光化学スモッグが発生すると、人の健康に影響を及ぼすほか、農作物など植物への影響も観察されています。

図1 光化学スモッグの生成機構



3 光化学スモッグ注意報の発令等

県では、光化学スモッグの発生しやすい4月1日から10月31日の間、光化学オキシダントによる大気の汚染が著しくなるなど、人の健康又は生活環境に係る被害が生ずるおそれがある場合に光化学スモッグ注意報等を発令しています。（表2）

また、この際、神奈川県大気汚染緊急時措置要綱に基づき緊急時措置を実施しています。

緊急時措置の内容は、県民等への周知のほか、主要ばい煙排出者（ばい煙発生施設における原燃料使用量（重油換算）の合計が常用最大で1時間当たり1.5klを超える者等）に対し、光化学オキシダントの原因物質について排出抑制の協力要請等を行っています。

表2 光化学スモッグ注意報等の発令及び発令基準

発令区分	予 報	注意報	警 報	重大緊急時警報
発令基準	注意報の発令基準程度に汚染するおそれがあると予測したとき	1時間値0.12ppm以上	1時間値0.24ppm以上	1時間値0.4ppm以上

いずれの発令区分も、発令基準値未達となった場合に解除

協力要請等の内容は、発令区分により「協力要請」「勧告」「命令」と異なります。(表3)

なお、発令地域は、県内の地域特性を考慮し、大気環境の類似性が認められる「横浜」「川崎」「相模原」「横須賀」「三浦」「湘南」「西湘」「県央」の8地域に区分しています。(図2)

表3 発令区分による主な要請等の内容

発令区分	主 な 内 容
予 報	・学童、生徒の過激な運動の自粛について協力要請 ・主要ばい煙排出者に対し、注意報段階の措置を実施することについて協力要請
注 意 報	・学童、生徒の過激な運動の自粛を要請 ・主要ばい煙排出者に対し、原則として通常燃料使用量の20%減等を勧告
警 報	・学童、生徒の過激な運動の中止を要請 ・主要ばい煙排出者に対し、原則として通常燃料使用量の25%減等を勧告
重大緊急時警報	・学童、生徒の屋外運動の中止を要請 ・ばい煙排出者に対し、原則として通常燃料使用量の40%減等を命令 ・必要に応じ、公安委員会に対し、道路交通法の規定による措置をとることを要請

図2 緊急時措置の発令地域割



4 原因物質の排出削減の取組

光化学オキシダントの原因物質であるNO_xについては、法や条例に基づき、工場・事業場に対して濃度規制、総量規制などを実施しています。また、VOCについては、光化学オキシダントのほか浮遊粒子状物質 (SPM) や微小粒子状物質 (PM_{2.5}) の原因物質でもあることから、平成18年4月の法改正により、一定の施設について排出基準が設けられたほか、VOC含有量の低い製品への転換や大気中への排出を自主的に削減する取組を要請しています。

光化学オキシダントの濃度は、その年の気象条件 (高気圧の配置等) などによっても変動しますが、原因物質の排出削減が重要であるため、工場・事業場における排出削減の取組について今後ともご協力をお願いします。

【参考】

光化学スモッグ注意報等の情報は、テレホンサービス及びインターネット (携帯電話・パソコン) により、4月から10月までの期間、毎日提供しています。情報の内容は、原則として午前10時の当日予報と午後5時の翌日情報があります。また、注意報発令時には、解除されるまで逐次最新の情報を提供しています。

- ・テレホンサービス 0463 - 24 - 3322
- ・携帯電話アドレス <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/i/>
- ・パソコンアドレス <http://www.k-erc.pref.kanagawa.jp/haturei/>

携帯電話等のメーリングリストで、予報・注意報等の情報配信を行っています。上記アドレスからメールサービスの登録手続きを行うことができます。

サーバールーム向け局所冷却空調システム「Ref Assist」(レフアシスト)

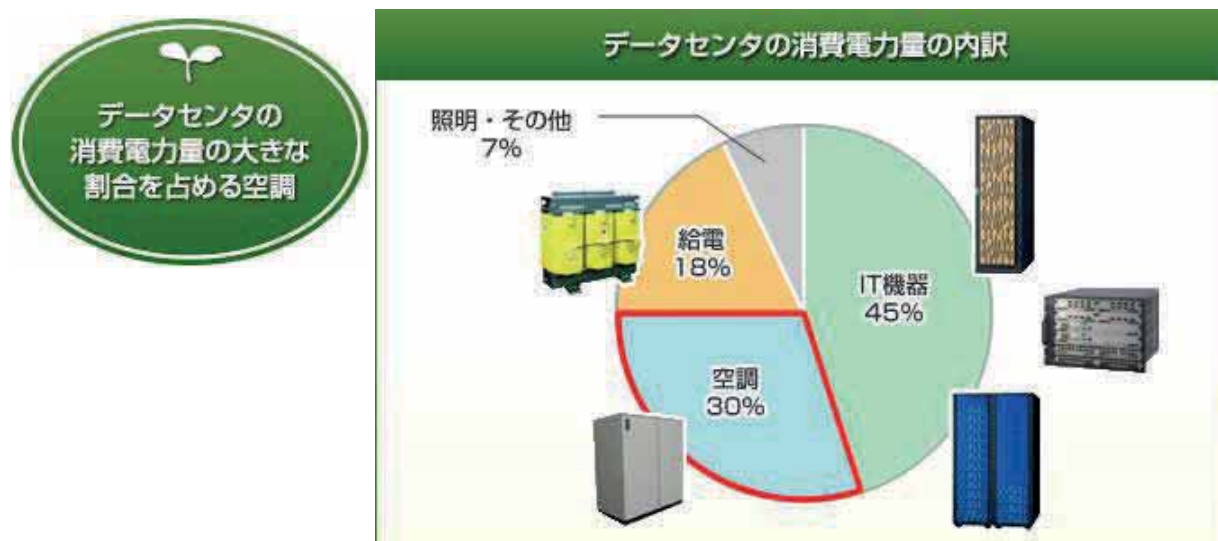


情報通信社会の進展に伴い、高性能化が進むIT機器・システム、情報通信システムの要となるデータセンタでは、増加し続ける消費電力をいかに抑えるかが大きな課題になっています。局所冷却空調システム「Ref Assist」(レフアシスト)は、データセンタの運用において大きな割合を占める空調機器の消費電力量を大幅に削減するだけでなく、スペースの効率化を図るなど、今後、ますます大容量化が求められるデータセンタの課題解決に貢献します。

1 データセンタの課題

データセンタでは、サーバなどのIT機器から発生する高温の熱がIT機器の故障を引き起こすおそれがあり、絶えず空調で冷却する必要があります。

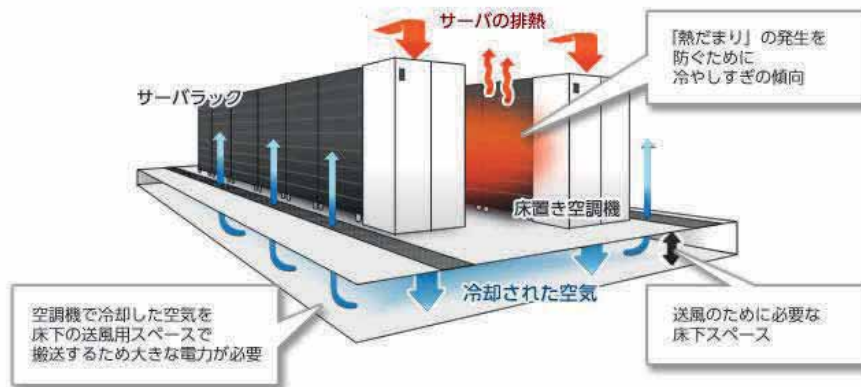
近年、クラウドコンピューティングやビッグデータの利活用など、データセンタで扱う情報量は急激に増えています。こうした状況に対応するためサーバを増設すると、さらに多くの熱が発生します。それに比例して、空調の消費電力量も増加することが考えられます。



* 出典：(社)電子情報技術産業協会『IT化トレンドに関する調査報告書』(2010年6月)

2 データセンタで使われる一般的な空調システムの問題点

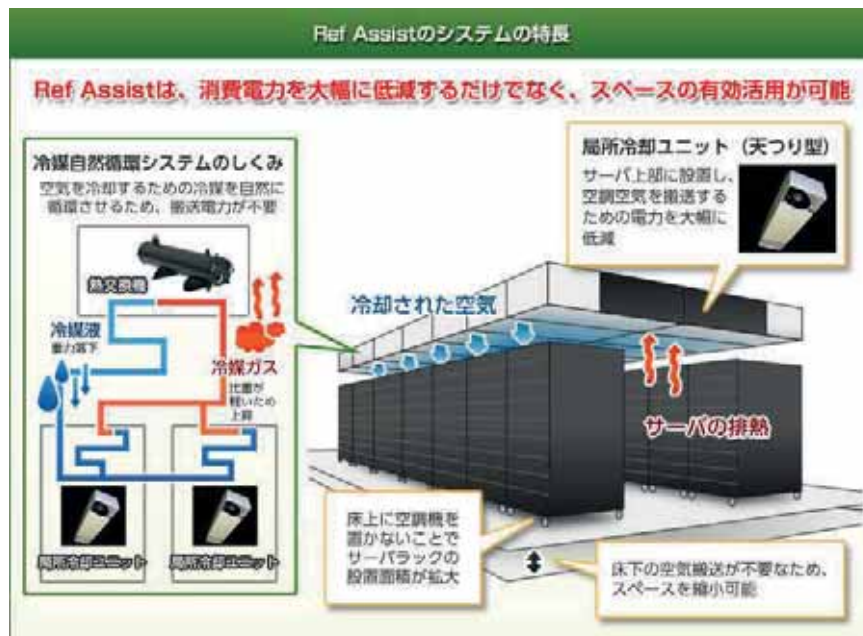
一般的に使われている床置き空調機は、床下を通して冷却した空気を運び、サーバ前面に吹き出します。この方式では、サーバを効率よく冷やせる半面、空気を循環させるために大きな電力が必要です。また、サーバの排熱が空調機に至るまでの経路が長く、「熱だまり」ができるおそれがあることから、室内全体を冷やしすぎるなど、過剰な電力が消費される傾向があり、省エネ施策は急務です。



一般的な床置き空調機の場合、室内全体を冷やすために大きな電力が必要

3 局所冷却で効率的に省エネを実現する「Ref Assist」

Ref Assistは、「冷媒自然循環システム」や「局所冷却ユニット」などによって、データセンタを効率よく冷やすことができます。室内全体に空気を循環させる床置き空調機に対し、サーバの周囲に局所冷却ユニットを設置するRef Assistは、空気を搬送するための電力を大幅に低減。Ref Assistにオプション設備である高効率熱源やフリークーリングシステムを組み合わせ使用した場合には、従来の床置き空調機に比べて、最大60パーセント、空調の消費電力を削減できます。



http://www.hitachi.co.jp/products/infrastructure/product_site/air_conditioning/products/datacenter/ref_assist.html (製品URL)

【問い合わせ先】 (株)日立プラントサービス 林 達哉、藤原 公二
(電話) 045 - 324 - 5640 (Mail) tatsuya.hayashi.up@hitachi.com
koji.fujiwara.cd@hitachi.com

平成25年度環境保全視察研究会に参加して

トピー工業株式会社 神奈川製造所
技術開発部設備グループ 鍋 谷 耕 治

2014年2月28日(金)に「平成25年度環境保全視察研究会」が開催されました。

参加者は事務局様、各会員様の総勢25名での視察となりました。

視察先は、『日本板硝子株式会社千葉事業所』様と『住友化学株式会社千葉工場』様の2社を各社2時間程の見学でした。

1社目の『日本板硝子株式会社千葉事業所』様は、板ガラスのトップメーカーで、千葉事業所では建築関連の板ガラスが製造され、型板ガラスを製造する2号ラインとフロート板ガラスを製造する3号ラインを見学することができました。

特に驚いたのは、錫を溶かしたお風呂の上にガラスを浮かばせて板ガラスを製造するラインなのですが、お風呂に浮いたガラスが「ピヨーン」と伸びる姿が見られず、とても残念でした。

二つ目の驚きは、ラインの長さがとても長く、ガラスを追いかけて行けどもいけども400mだとか、圧巻でした。

環境管理のお話では環境協定を結び、研磨工程の排水は沈殿式処理装置で処理され、環境データがテレメーターにより市役所に送信されるそうです。

省エネ活動では排熱ボイラーの排熱利用を計画中とのことでした。

また、リサイクル活動も徹底され、生産工程から出る廃ガラスはすべて再利用され、とてもきれいな工場でした。



2社目の『住友化学株式会社千葉工場』様は、大手総合化学メーカーで千葉工場では石油から様々な石油化学製品（プラスチック、合成繊維原料、合成ゴム、他）を製造されているとのことでした。

ここでもやはり、環境協定を結ばれており、規制値より厳しい環境管理をされていました。工場見学では環境管理施設のゴム用排ガスを処理（臭気対策）している蓄熱式燃焼炉と水処理施設38基（凝集沈殿、砂ろ過、油処理、活性汚泥、凝集浮上、液中燃焼）でとても広大な環境設備を見学することができました。その他では大気関係の脱硝、脱硫処理装置があり、廃棄物関係でも流動床焼却炉や遮断式最終処分場まで設置され、環境省とのエコファーストも結ばれ、工場の24時間稼働に伴い環境管理（管理業務3名、施設管理43名）も24時間体制でされており、厳重な管理状況が伺えました。



おわりに、研究会の企画・開催していただいた事務局様、協会役員様、関係会社の皆様、誠に有難う御座いました。

なかなか異業種の工場を見学させていただくことは難しいことだと思いますし、この神奈川県環境保全協議会の研究会ならではの特別に見学させて頂けた箇所も多々あったかと思っています。

来年度も当事業所から参加させていただきますので、是非ともこの事業の継続を事務局様には切にお願い致します。

会員事業所訪問⑱ お元気ですか？



今回も前回に引き続き
綾瀬市の事業所です！

東罐興業(株)厚木工場

協議会事務局 山崎 美紀



正門外観



倉庫外観

東罐興業(株)は全国7か所に拠点工場があり、当厚木工場は東名高速上りの渋滞情報で有名な綾瀬バス停の脇に上記写真の紙コップの倉庫外観を見ることが出来ます。

綾瀬市小園地区に位置し、昭和40年2月に紙コップ工場として操業を開始しました。同じ敷地の中には、グループ会社の日本トーカンパッケージ(株)、東洋ユニコン(株)、東罐ロジテック(株)を擁しています。



ヨーグルト容器



断熱性容器 (エンボス)



耐熱性容器

断熱性紙容器は紙コップにエンボス（凸凹）加工された紙製スリーブを装着することによって凸凹に空気層が形成され熱を感じずに容易に持つことが出来ます。耐熱性容器は、特にコンビニや冷凍食品などでご存知と思いますが、加熱調理できる熱にも強い容器です。ほかにケーキなどの焼型にも使われているそうです。製造ラインでは、常時約25製品を24時間連続操業で製造し、成型機などは殆ど自社開発のものだそうです。

ほかにも、デザートなどを入れる学校給食用の小さな紙容器も製造しているそうです。

製品は全国に流通し、我々が日常生活の中で何気なく使用しているものばかりなので非常に驚きでした。

環境保全活動に関しては、平成15年にISO14001を全社統合認証で取得され、システムに則った活動を展開。工場の特性で大気や水質関連施設はないということで、主には廃棄物対策。排出される物としては工程から出る型抜き後の紙端材などが約2,900t/年間。ふと、紙コップへすんなりと再生されるのかと思いましたが、やはり食品衛生上そのままりサイクルは出来ないとのこと。とは言っても全て資源として再利用可能なものなので、処理業者を介して、再生メーカーへ有価物として売却しているそうです。

そのほかには第1種エネルギー管理指定工場ということで電力削減のご苦労もあり、震災以降工場内の照明の間引きまた一部LED照明への転換など取り組まれております。地域活動としては、工場周辺の清掃活動は敷地内のグループ会社とともに実施、また地元「高座地区河川をきれいにする会」のメンバーとして、清掃活動や河川パトロールなどにも積極的に参加しているとのことでした。



福岡ドームに設置されたカート

また東罐興業(株)様ならではの取組として、国内の主要なスタジアム、関東近県地区ではサッカーで有名な埼玉スタジアムや日本平スタジアム、また地元の横浜スタジアムに「使用済み紙コップ回収カート」（写真）を提案され、利用者に広く回収の協力を呼び掛ける活動もされているとお聞きしました。この取組みは本社への働きかけがあり、関連企業、処理業者が一体となり作り上げたシステムだそうです。「エコプロダクツ展」の中でも出展されたそうです。

既に目にされた方、利用した方がいらっしゃるかもしれません。取材に対応いただいた村越工場長様からはほかにも様々な製品のご紹介がありましたが、容器製造メーカーとして日々多様化するニーズに応え、新しい材料や機能などの研究開発が不可欠なのだと思感した事業所訪問となりました。

—掲載内容についてのお問合せ先—
東罐興業(株)厚木工場
環境管理責任者 小屋敷 周一
(0467) 78 - 2112

協議会の活動状況

1 会員の状況 平成26年 3月31日現在

区 分	正 会 員	賛助会員	計
前回までの計	3 0 9	2 4	3 3 3
新 入 会 員	1	0	1
退 会 会 員	4	1	5
計	3 0 6	2 3	3 2 9

○新入会員（平成25年12月 1 日～平成26年 3月31日） 1 社

No	事業所名	業務内容	所 在 地	代表者名	電 話
1	東ソー(株)東京研究センター	総合化学製品の開発・研究	綾瀬市早川2743 - 1	大島 憲昭	(0467)77-2211

○退会会員 5 社

2 平成25年度環境実務後継者育成講座

日 時：平成26年 1月31日(金) 9:30～16:45

会 場：万国橋会議センター

受講者：35名

内 容：環境法令の全体像を理解、環境法令の読み（ルール）、法律・条例の申請手続き、排水・排出ガスの測定、事故時の措置、苦情対応と立入り検査への適切な対応、環境保全に係る環境管理の在り方、環境リスクの気づきが企業価値を高める、演習



3 女性担当者のための環境保全研修会

（シリーズ第1回）

日 時：平成26年 2月12日(水) 13:00～16:30

会 場：万国橋会議センター

受講者：21名

内 容：(1) 環境法を知る！
 - 水質関連法令について -
 (2) こんなときどうする？
 - 水質事故とそのリスク回避 -
 (3) 実務のいろは！
 - 法令を読み解く -
 (4) はじめまして！
 - 環境保全協議会とは -
 (5) 質疑応答・意見交換



4 平成25年度地区部会役員会議

【県央地区】

日 時：平成26年 2月 5 日(水) 14:30～17:00

会 場：東芝機械(株)相模事業所

【湘南地区】

日 時：平成26年 2月14日(金) 14:00～17:00

会 場：JX日鉱日石金属(株)倉見工場

【横須賀・鎌倉地区】

日 時：平成26年 2月21日(金) 14:00～17:00

会 場：(株)岡村製作所追浜事業所

【県西地区】

日 時：平成26年 3月 7日(金) 14:00～17:00

会 場：日本製紙クレシア(株)開成工場

内 容：全地区共通

(1) 平成26年度事業計画（地区部会
関連）について

(2) 会長・県センター所長表彰候補者推
薦について

(3) その他

5 平成25年度環境保全視察研究会(P16参照)

日 時：平成26年 2月28日(金)

視察先：日本板硝子(株)千葉事業所
住友化学(株)千葉工場

参加者：25名

6 平成25年度第2回企画教育委員会

日 時：平成26年 3月 4日(火) 15:30～17:00

会 場：横浜・波止場会館

内 容：(1) 平成25年度の教育事業進捗状況
について

(2) 平成26年度の事業計画案につい
て

(3) その他事項

7 県央地域環境情報交流会

日 時：平成26年 3月17日(月) 14:10～16:30

会 場：日産自動車(株)日産先進技術開発セン
ター

参加者：36名

内 容：(1) 取組事例の発表（エネルギー対
策）

・神奈川県企業庁、三機工業(株)、
ジェイアール東日本ビルテック(株)、
自動車部品工業(株)

(2) 建築物における環境配慮事例の
紹介及び施設見学

日産自動車(株)日産先進技術開発セ
ンター

(3) 質疑応答



8 平成25年度第3回総務員会

日 時：平成26年 3月25日(火) 13:30～14:30

会 場：万国橋会議センター

内 容：(1) 平成26年度環境保全表彰等被表
彰者の選考について

(2) 平成25年度第3回理事会及び第
2回定時総会開催について

(3) その他

9 平成25年度第2回通常理事会

日 時：平成26年 3月25日(火) 15:00～17:00

会 場：万国橋会議センター

内 容：(1) 新会員の承認について

(2) 役員の一部変更及び退任役員へ
の記念品の贈呈について

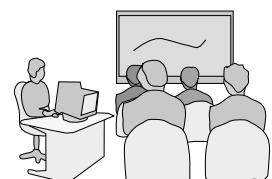
(3) 平成25年度事業報告案について

(4) 平成25年度収支決算報告（見込
み）案について

(5) 平成26年度事業計画案及び収支
予算案について

(6) 平成26年度環境保全表彰被表彰
者の承認について

(7) その他





わがお国自慢 ～兵庫県西脇市編～



私の故郷は兵庫県の西脇市です。人に「出身はどこですか？」と聞かれ、「兵庫県の西脇市です。」と答えると、「駅伝の西脇工業の西脇ですか」とほとんどの方からかえってくる。そのたび、駅伝の西脇工業の知名度が高いことには感心させられる。西脇市は明治から昭和にかけて「播州織」と呼ばれた先染織物の繊維産業で栄えたまちで、今でも毎年開催される「織物まつり」が当時のなごりを残している。しかし西脇の町はそれだけではない。西脇市には、東経135度・北緯35度の交差点があり、ここが「日本列島の中心」に当たることから、「日本のへそ」のまちといわれている。地球儀を一度見てみてほしい。この「日本のへそ」にちなんで日本へそ公園があり、そこには810mmの大型



反射望遠鏡で昼でも星が見えるテラ・ドームがあり、西脇出身の世界的なアーティスト横尾忠則さんの作品を企画展示する岡之山美術館などがある。地理的には播磨平野と呼ばれる大きな平野の上に町があり、平野の中心を一級河川の加古川が流れる。夏は暑いし、冬は寒い、しかし水不足になったとか、大雪が降ったという話は私が子供のころから聞いたことがない。そして加古川を流れる水は豊かで、この平野の農地では日本酒の原料となる良質の「山田錦」が収穫され、新潟や富山の酒蔵に出荷され、うまい日本酒が生まれる。また、もう一つの名産品に「黒田庄和牛」の名で知られている牛肉がある。この牛は、世界の舌を魅了する神戸ビーフと呼ばれる最高の和牛の主産地として有名で、帰省した際には、必ず食し、おいしさと幸せをかみしめる。「黒田庄和牛」は今では通販でも購入できるので、おいしい牛肉を食べたい方は一度、ご賞味されてはどうだろうか。また今年、この小さな町にちょっとした騒動が起きている。今年のNHK大河ドラマの主人公で豊臣秀吉の稀代の軍師であった黒田官兵衛の生誕の地が西脇市の黒田庄町黒田だからである。黒田氏の発祥と官兵衛の西脇市出自説は、2011（平成23）年に播磨黒田氏研究会が「播磨古事」の研究過程で、黒田庄町黒田の荘厳寺所蔵の系図「荘厳寺本黒田家略系図」を用いて、「黒田氏と黒田官兵衛は、西脇市黒田庄町黒田の出自である」との研究成果をアピールしたこともあり、現在注目される説となった。また西脇市には他にも、戦国時代、豊臣秀吉が三木城の別所長治を攻める際、黒田官兵衛に戦勝祈願させた「兵主神社」や、黒田城跡、多田城跡などもあり、官兵衛を巡っての散策に重要なまちとなっている。



（記 日産車体㈱ 村上 安英）

広報委員会

委員長 ㈱日立製作所ITプラットフォーム事業本部神奈川事業所
副委員長 市光工業㈱伊勢原製造所
委員 ㈱さんこうどう
委員 富士フィルム㈱神奈川工場

委員 三菱樹脂㈱平塚工場
委員 ㈱岡村製作所追浜事業所
委員 ソニー㈱厚木テクノロジーセンター
委員 ㈱ニコン相模原製作所

✉ 事務局だより ✉

会員の皆様には日頃から“しんかんきょう”をご覧いただきありがとうございます。総会特別号として会報誌を発行いたしました。

当協議会は、「公益社団化」2年目を迎えたところですが、今後も引き続き会員企業の皆様のニーズに合わせた事業を実施していく所存です。併せて、この会報誌もコンパクト冊子ではありますが、気軽にお読み頂ける情報満載の内容にすべく努めてまいります。

是非、今後ともご活用くださいますようお願い申し上げます。

会報 しんかんきょう 130号

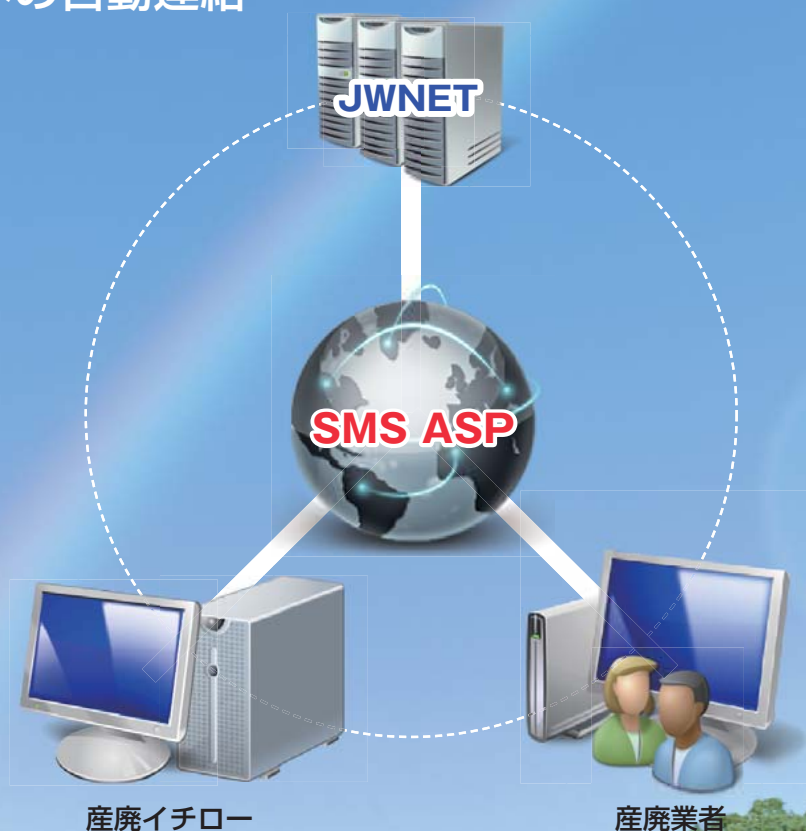
発行年月日 平成26年4月
発行人兼 公益社団法人神奈川環境保全協議会
編集責任者 会長 吉村 東彦
横浜市中区日本大通1
(神奈川環境農政局内)
電話 (045) 210-8727
E-mail: shinkankyoku@eagle.ocn.ne.jp
ホームページ: <http://www.shinkankyoku.or.jp>
編集協力 ㈱さんこうどう(<http://www.sankodo.ne.jp>)
製作・印刷 電話 (0466) 27-2511

エスエムエスの電子マニフェストASP

SMS ASP

電子マニフェストをもっと便利に！簡単に！

- ・ 紙と電子の一体運用と一元管理の実現
- ・ 委託契約書との相関チェックの実現
- ・ 産廃業者への自動連絡



株式会社エスエムエス

〒640-8222 和歌山県和歌山市湊本町3丁目12番地
TEL 073-435-4111(代) FAX 073-435-4115

SMS 産廃ソフト / 公式サイト
<http://www.sanpai.com/>

オンラインショッピング
<http://smsonline.shop-pro.jp/>

詳しくはWEBで **産廃イチロー**

検索

東京支店 TEL 03-5809-3760 / FAX 03-3861-6193
大阪支店 TEL 06-6195-4837 / FAX 06-6195-4839
北海道支店 TEL 011-765-8626 / FAX 011-788-2298
宮城支店宮 TEL 0229-91-0935 / FAX 0229-91-0936

【環境方針】

環境をいつまでも美しく
自分たちの扱う産業廃棄物が
環境を壊すことの無いよう、
適正な方法での運搬・処理を行い、
リサイクル率の向上、
残渣物の削減に努めます。

美しい環境を
いつまでも美しく

【主要業務】

- 1 産業廃棄物
特別管理廃棄物 中間処理業
- 2 産業廃棄物
特別管理廃棄物 収集運搬業
- 3 テクニカルサービス関係
各種タンク、槽等の洗浄工事
各種配管、側溝清掃工事



厚木工場



廃液処理施設



バキュームダンパ



優良産廃処理業者認定取得 ISO14001 認証取得

<http://www.showaplant.com>

株式会社 昌和プラント

本社：〒231-0031 神奈川県横浜市中区万代町2-3-1 TEL 045-681-9027

厚木工場：〒243-0303 神奈川県愛甲郡愛川町中津6957 TEL 046-285-8111

